

ポータブル レコードプレイヤー HNB-PL1000BT(WD)

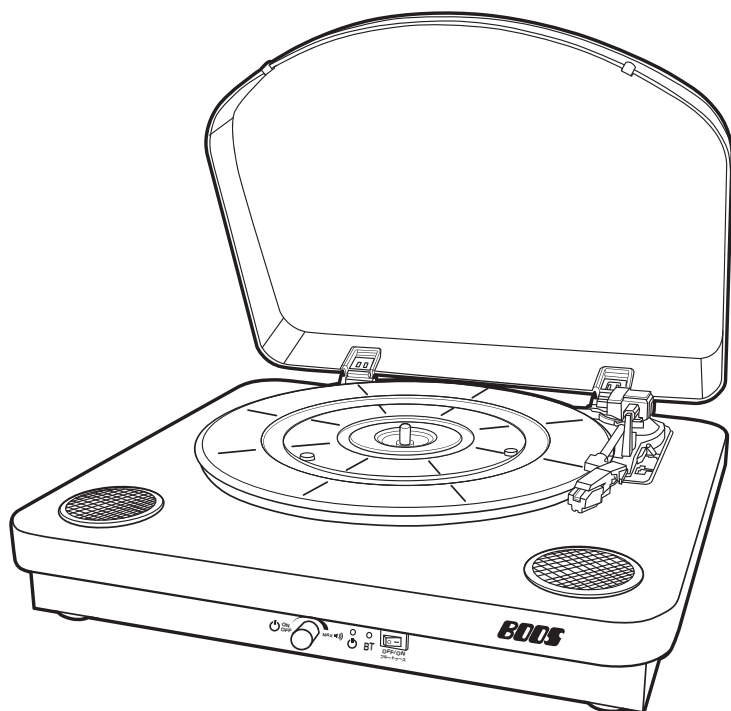
このたびは「ポータブル レコードプレイヤー」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、機能を十分に活かして正しくご愛用下さい。

お読みになった後は大切に保管し、ご不明な点や不具合が生じた場合にお役立て下さい。

INDEX

・安全上のご注意	1
・各部の名前	2
・組み立て方	3
・レコードの取扱について	4
・基本操作	5.6
・SDカード/USBメモリーの使用方法	7
・ブルートゥースの使用方法	8
・外部接続について	9
・レコード針の交換方法	10
・お手入れの仕方	11
・故障かな？と思ったら	12
・製品仕様	13
・保証とアフターサービス	14



安全上のご注意

ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや周囲の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分けしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 プラグをコンセントから抜く	異常・故障時には直ちに使用を中止する。異常があった際は、電源プラグを抜く ●煙が出たり異常なおいや音がある。●内部に水や異物が入った。 ●ACアダプターが異常に熱い。●本体に変形や破損した部分がある。 そのまま使うと火災・感電の原因となります。電源を切り、コンセントからACアダプターを抜いて、販売店にご相談下さい。	
	ACアダプターのほこり等を定期的に掃除する ACアダプターにはほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いて下さい。	 ACアダプターを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど) 傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因となります。
 濡れ手禁止	濡れた手で、ACアダプターの抜き差しはしない 感電の原因となります。	 ACアダプターは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となります。
 禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使用方や、AC100V以外での使用はしない たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因となります。	 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり、濡らしたりしない ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないで下さい。 特にお子様にはご注意ください。
 接触禁止	雷が鳴ったら、本機やACアダプターに触れない 感電の原因となります。	 分解改造をしない 故障の原因となります。又、お客様での分解・改造は保証対象外となります。

注意

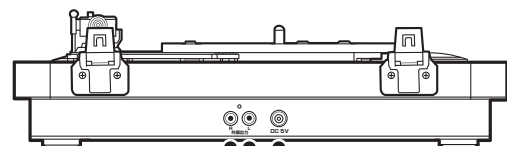
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

 禁止	放熱を妨げない 内部に熱がこもると、火災の原因となります。	 振動の多い場所に設置しない 本機は振動に弱いため、安定した場所に設置して下さい。 振動で針やレコード盤が傷つく恐れがあります。
 プラグをコンセントから抜く	長時間使わない場合やお手入れの際は、ACアダプターをコンセントから抜く 通電状態で放置・保管すると絶縁劣化、漏電などにより、火災の原因となる恐れがあります。	 ACアダプターを接続した状態で移動しない 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因となる恐れがあります。 また、引っかけてけがの原因となる場合があります。
 禁止	湿気の多い場所、ほこりの多い場所に置かない 電気が水分・ほこりを伝わり、火災・感電の原因となる恐れがあります。	 本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない 倒れたり落下すると、けがの原因となります。 また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因となります。
 禁止	異常に温度が高くなる場所に置かない 本体温度が高くなりすぎると、火災の原因となる恐れがあります。直射日光の当たる場所、ストーブの近くでは特にご注意ください。また、外装ケースや内部の部品が劣化する原因となるのでご注意ください。	

お読みになった後は、いつでも見られる場所で必ず保管して下さい。

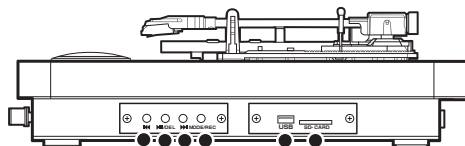
各部の名前

本体背面



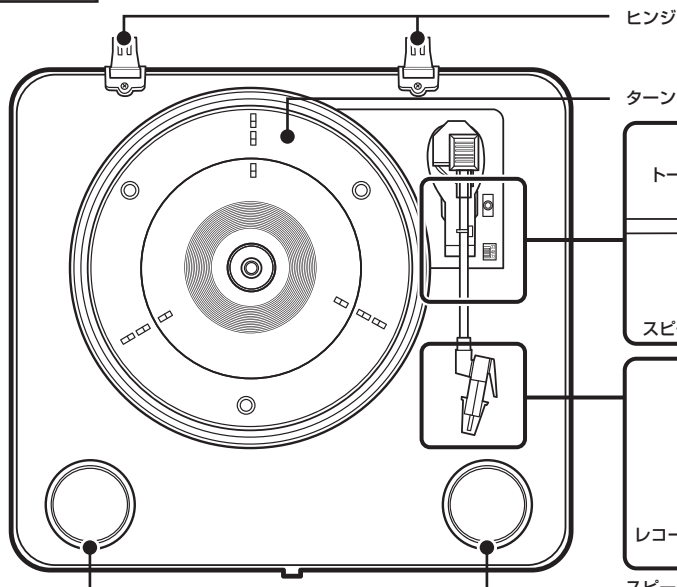
外部スピーカー出力R(右)
外部スピーカー出力L(左)
DC電源入力ジャック

本体右側面



再生 / 一時停止 / 曲削除 (DEL)
曲戻し
曲送り
モード切換え
(録音 / USB / SD / ブルートゥース出力)
SDカード差し込み口
USB差し込み口

本体上面



ヒンジ
ターンテーブルブラッター

■アーム部■

トーンアーム アームロック

スピードセレクター リフトレバー

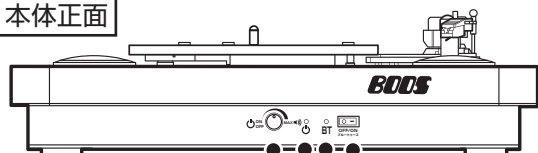
■カートリッジ部■

ヘッドシェル

レコード針 オーディオライン

スピーカー部
ターンテーブルカバー

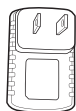
本体正面



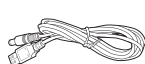
電源スイッチ / 音量ボリューム
パイロットランプ
Bluetooth OFF/ON ボタン
Bluetooth ランプ

付属品

< ACアダプター >



< USBケーブル >



< EP盤アダプター >



< 取扱説明書 >

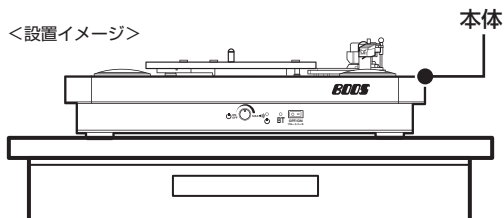


< 保証書 >



組み立て方

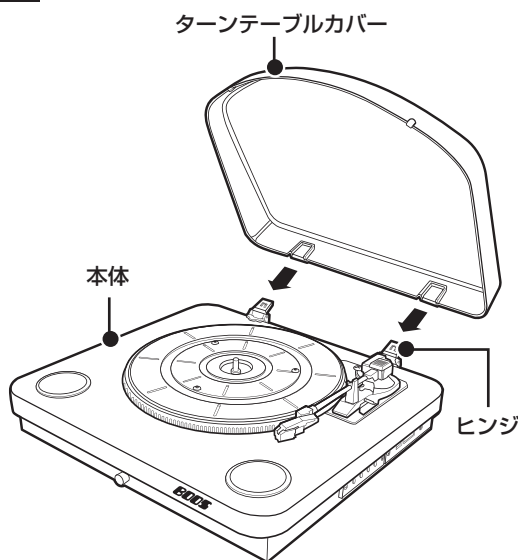
- 1** ターンテーブルカバーを取り付ける前に、本製品を平らな場所に設置して下さい。



⚠ < 注意 > ⚠

直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、
温度が高くなる場所に置かないで下さい。
また、アンプ等の熱を発生させる機器および、
振動のある場所に置かないで下さい。
変形・変色・故障の原因となります。

- 2** 本体背面の左右両端にあるヒンジに合わせてターンテーブルカバーを奥まではめ込みます。

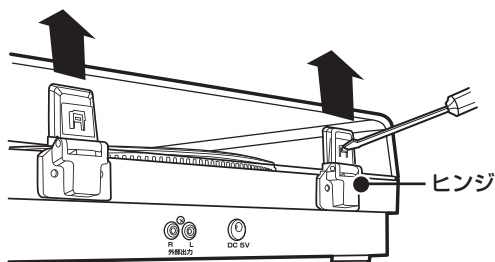


⚠ < 注意 > ⚠

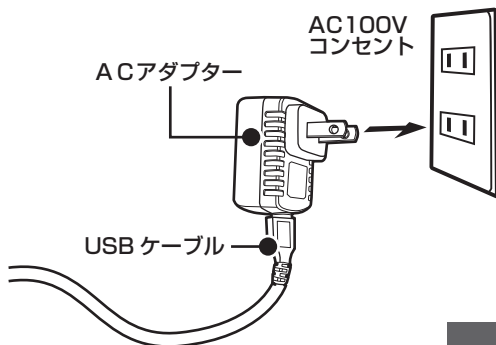
ターンテーブルカバーの上には物を置かないで
下さい。ターンテーブルカバーが変形する恐れが
あります。

ターンテーブルカバーの外し方

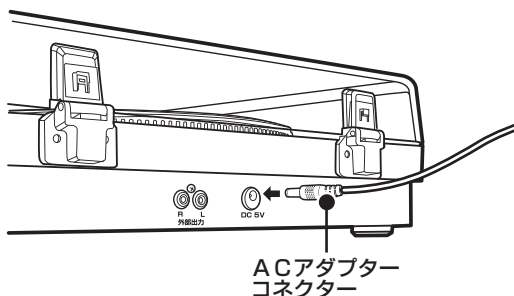
ヒンジの固定部を細いマイナスドライバーで押して、
ターンテーブルカバーの固定部を持ち上げます。



- 3** ACアダプターの電源プラグをAC100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んで下さい。



- 4** ACアダプターのコネクターを本体背面のDC電源入力ジャックに差し込んで下さい。



レコード盤の取扱について

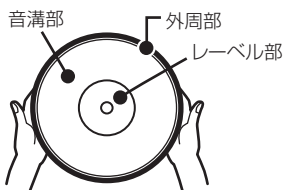
レコード盤の持ち方

ケースから取出す時にレコード盤を持つ場合は、音溝部に手を触れないで下さい。

両手でレコードの外周部分を挟むか、レーベル部と外周部分を指で支え持ち取り出して下さい。

レコード盤を手汗や皮脂で汚さないで下さい。
音楽が再生できなくなる恐れがあります。

＜両手で外周部を挟む＞



＜2箇所を支える＞



レコード盤のお手入れ方法

指紋やほこりが付くと、雑音や音飛びの原因となり、
レコード盤や針を傷めます。

市販のレコードクリーナーなどでクリーニングして下さい。
ベンジン・シンナーなどの溶剤では絶対に拭かないで下さい。

これらの化学薬品によって表面が侵食され、レコード盤が
使用できなくなる恐れがあります。



＜クリーニングの仕方＞

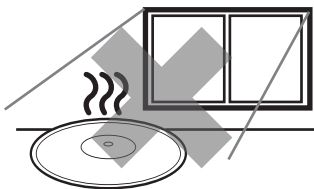


レコードクリーナーを使用する場合は、音溝に沿って
円を描く様に拭き取って下さい。

使用上・保管上の注意

■ 高温禁止 ■

直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所には置かないで下さい。長時間放置すると、反りなどの原因となります。



■ 積み置き禁止 ■

レコード盤は何枚も積み重ねたり、重い物を載せたりしないで下さい。また、斜めにして長時間放置しないで下さい。
反りや破損の原因となります。



■ 圧迫禁止 ■

音溝部に固い物が直接触れない様にして下さい。破損の原因となります。



■ 放置禁止 ■

再生が終わったレコード盤は、必ず元のケースに戻して保管して下さい。そのまま放置すると、反りや傷の原因となります。



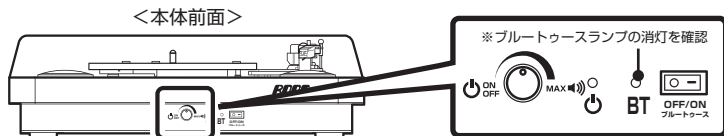
■ 破損品使用禁止 ■

亀裂の入ったレコード盤や破損したレコード盤は使用しないで下さい。



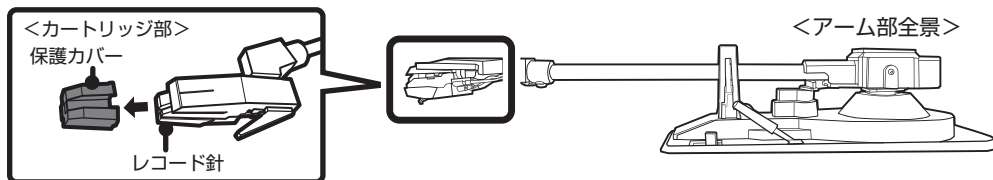
基本操作

- 1 本体前面のBluetoothボタンが「OFF」になっている事を確認します。
(※Bluetoothランプが消灯していれば「OFF」になっています。)

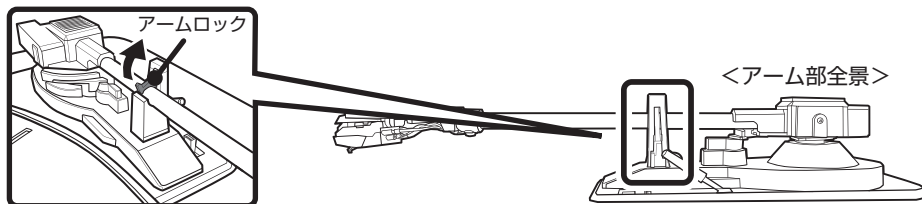


⚠＜注意＞⚠
BluetoothがONになっていると、本体から音楽が流れなくなります。

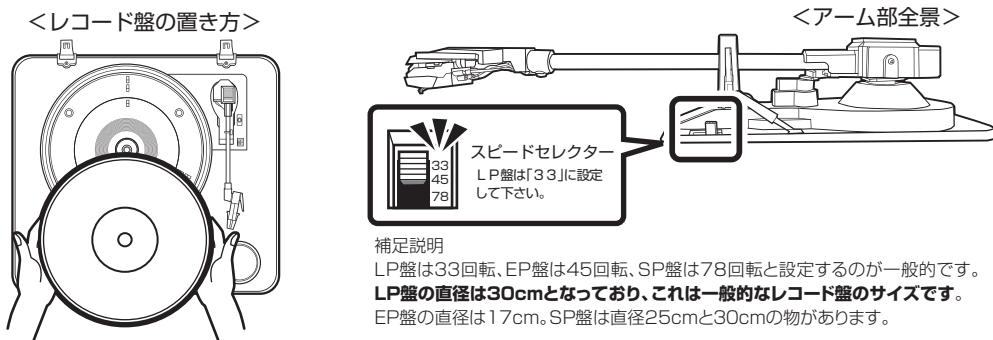
- 2 カートリッジ部に取り付けてある保護カバーを外します。
(※保護カバーは収納時に使用するので、捨てずに保管して下さい。)



- 3 トーンアームの固定を解除します。



- 4 ターンテーブルの上にレコード盤を置き、スピードセクターで必要な回転速度を選択します。
(※回転速度は33、45、78の中から選択します。)



EP盤使用に際して

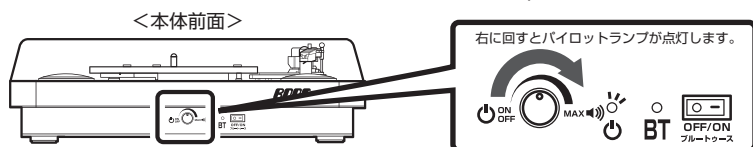
EP盤(ドーナツ盤)を再生する際には付属のEP盤アダプターをターンテーブルの真ん中に設置して下さい。

＜EP盤アダプター＞



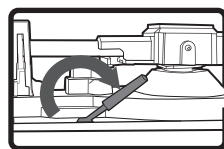
基本操作（つづき）

- 5** 電源スイッチ/音量ボリュームのつまみを右に回し、電源ONにします。（※音量の上げすぎにご注意下さい。）



- 6** リフトレバーを使ってトーンアームを上げ、トーンアームを動かせるようにします。

リフトレバーを上げる



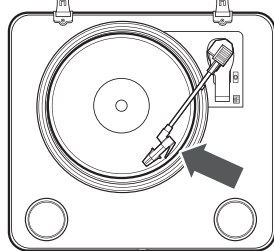
直接レコード盤に針を置くと、レコード針を傷める恐れがあります。必ずリフトレバーをご使用下さい。

＜アーム部全景＞

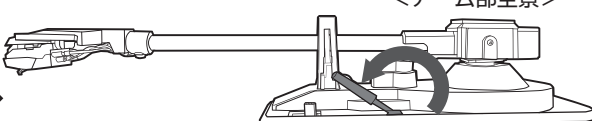


- 7** トーンアームをレコード盤の方に動かすとターンテーブルが自動で回転し始めるので、レコード盤の端、に合わせ、リフトレバーを下げると再生開始となります。

① トーンアームを動かす



② リフトレバーを下げる（再生開始）



＜アーム部全景＞

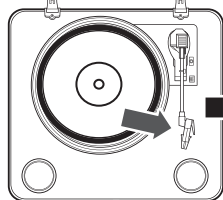
補足説明

- レコード再生中はほこりを防ぐためにターンテーブルカバーを閉める事をお勧めします。
- 再生中にターンテーブルカバーの上に物を置かないで下さい。
- 再生中はトーンアームや回転しているレコードに手を触れないで下さい。
- 再生中にターンテーブルの回転は止めないで下さい。故障・破損の原因となります。

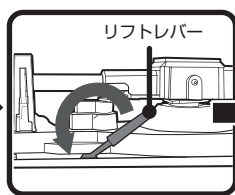
- 8** レコードの再生が終了すると、トーンアームは自動で上がります。（※途中で再生をやめる場合はリフトレバーを使ってトーンアームを上げて下さい。）

- 9** トーンアームを元の位置に戻してリフトレバーを下げ、アームロックで固定します。次に保護カバーを取り付けて下さい。（※トーンアームが移動するとターンテーブルの回転も止まります。）

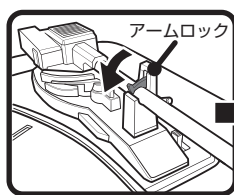
① トーンアームの位置を戻す



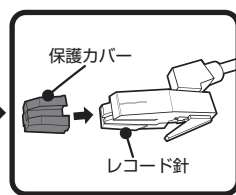
② リフトレバーを下げる



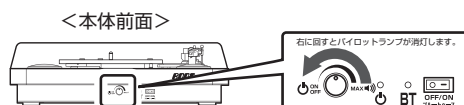
③ アームロックを固定する



④ 保護カバーを取り付ける



- 10** 電源スイッチ/音量ボリュームのつまみを左に回し、電源をOFFにします。（※パイロットランプの消灯をご確認下さい。）



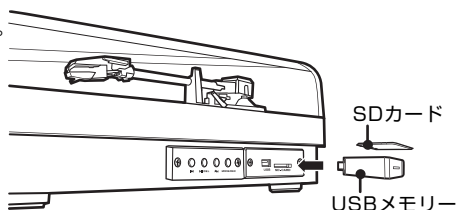
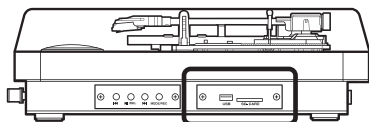
SDカード/USBメモリーの使用方法

音楽を聴く

トーンアームを初期位置に戻し、
BluetoothのボタンをOFFにします。

- 1** SDカード/USBメモリーから音楽を再生する場合は、本体右側面の差込み口に各種の記録メディアを挿入します。

<本体右側面>

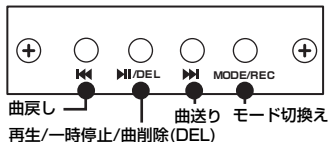


SDカード

USBメモリー

- 2** SDカード/USBメモリーを差し込むと自動的に記録メディア内の音楽データが再生されます。

<本体右側面 操作部>



曲戻し 再生/一時停止/曲削除 (DEL)
曲送り モード切換え

モード切換えボタンを押して、目的の記録メディアを選択できます。
差込み口に記録メディアが無い場合は認識されずに次に進みます。



音楽データはMP3形式のみ対応しています。

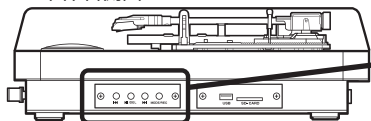
SDカード/USBメモリーを両方差した場合、最後に差し込んだ記録メディアが再生されます。
(例：SDカードを再生中にUSBメモリーを差し込むとUSBメモリー内の音楽データが再生されます。)

録音する

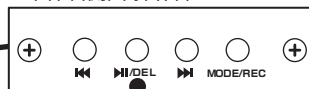
レコード盤の音楽をMP3形式のデータに変換し、
SDカード/USBメモリーに録音できます。

- 1** P5・P6の説明に従ってレコード盤を再生します。
- 2** 本体右面のSD/USB差込み口にSDカード/USBメモリーを差し込みます。
- 3** 「モード切換えボタン」を2秒間押し続けると「ピッ」と音が鳴り、録音が始まります。
録音の終了には、「モード切換えボタン」を2秒間押します。(※短く「ピッピッ」と鳴ります。)

<本体右側面>



<本体右側面 操作部>



モード切換えボタン

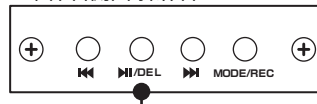
- 4** 録音された曲は128kbpsで「RECORD0」フォルダにMP3形式で保存されます。
(録音した曲のファイル名は「REC001L、REC002L、etc.」となります。)

「モード切換えボタン」を押すとSDカード→USBメモリー→SDカード...の順に録音したい記録メディアに変更できます。

録音済みの音楽を削除する

SDカード/USBメモリー内の曲を削除するには、削除する曲を再生中に「再生/一時停止/曲削除(DEL)」ボタンを2秒間押します。曲が削除されると2回「ピー」と鳴ります。

<本体右側面 操作部>



再生/一時停止/曲削除(DEL)ボタン

ブルートゥースの使用法

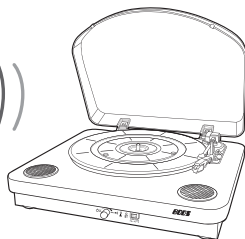
ブルートゥースとは？

ブルートゥースとは近距離の無線通信を行う機能です。
赤外線と異なり、障害物があっても通信が可能です。



ブルートゥース接続機器で接続設定(ペアリング)を行えば本製品との無線通信が可能となります。

((無線通信
ブルートゥース))



1 電源をONにして本製品を起動させます。

「電源スイッチ/音量ボリューム」つまみを回し、「ブルートゥースOFF/ON」ボタンを「ON」にすると、インジケータ(青色)が点滅します。(※インジケータの点滅はペア先の検索中です。)



2 音楽を再生する準備をします。

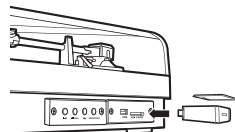
ターンテーブルプレイヤーにレコード盤を置か、音楽データ(MP3形式)の入ったSDカード/USBメモリーを差し込みます。

<レコード盤を置く>



OR

<SD/USBで再生する>



3 本製品とブルートゥース接続を行います。(ペアリング)

ブルートゥース機器の電源をオンにして、検索モードになっていることを確認します。**約60秒**でブルートゥースインジケータ(青色)が点滅から点灯に変わり、ブルートゥースが正常に接続されます。

注意

**ペアリングには
約60秒を
必要とします。**

4 音楽を再生させます。

音楽の再生/一時停止・選局は本製品から行って下さい。

注意

ペアリング解除を忘れると他の機器と接続できません。

ペアリングの解除

ペアリングの解除は本製品の電源をOFFにするか、スマートフォンその他のブルートゥース接続機器側より接続設定(ペアリング)の解除を行ってください。

(ペアリングが解除されると、インジケータの青色ランプが点滅に変わります。)

注意

ブルートゥース接続の設定は機種やメーカーによって異なります。
お持ちの機器説明書を参照
にして設定を行ってください。

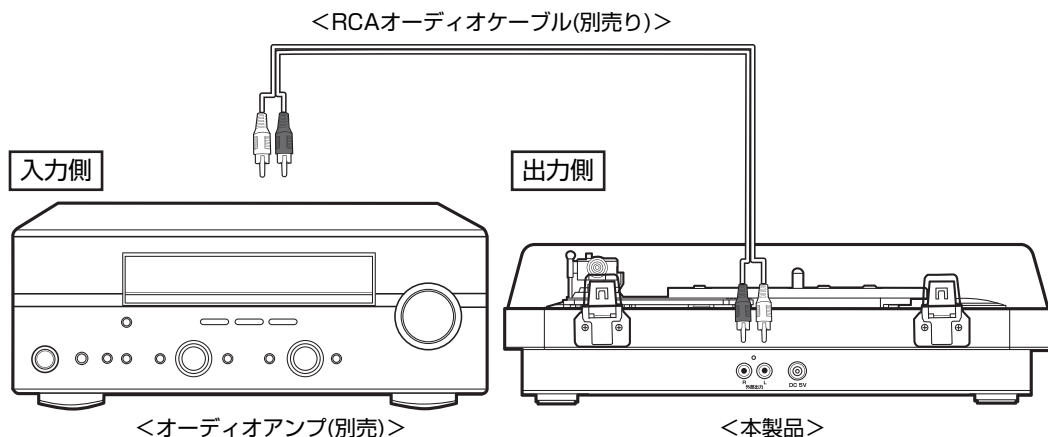
使用上の注意 (以下の状況ではブルートゥースの接続が不安定になる場合があります。)

- ①コンクリートの壁などの障害物が本製品と音楽再生機器の間に存在する場合。
- ②他の機器を同時に使用した場合。(ペアリング回線は1つしかありません。)
- ③無線LANや電子レンジなどの電波を発生する機器が近くにある場合。
- ④ブルートゥースの通信範囲は約10mです。範囲外に出ると接続が不安定になります。

外部接続について

外部アンプへの接続

全ての接続が完了してからACアダプターを差し込んで下さい。
接続する機器の取扱説明書を良く読み、その説明に従って接続して下さい。



外部オーディオアンプを使用する際は以下の手順に従ってください。

1 外部出力ジャックへの接続

RCAオーディオケーブル(別売り)を本体背面にある外部スピーカー出力R/L ジャックに接続します。(※赤/白のプラグを対応する赤/白のジャックに合わせます。)

2 外部オーディオアンプへの接続

ケーブルのもう一方を外部オーディオアンプの外部入力ジャックに接続します。
(※取り付けは外部オーディオアンプのマニュアルを参照にして下さい)。

3 外部接続時の操作

接続完了後は外部オーディオアンプから音量操作を行って下さい。
(※外部出力後、本製品からの音量操作は出来なくなります。)

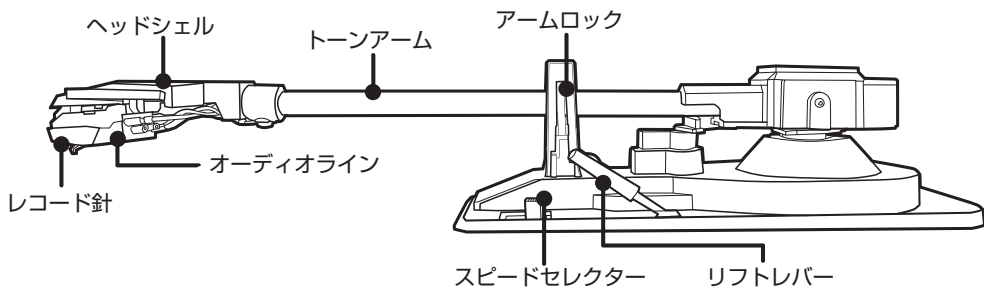
使用上の注意

- ①専用のACアダプター以外は使用しないで下さい。火災・感電・故障の原因となります。
- ②ACアダプターの抜き差しは、必ずアダプターを持って行って下さい。
- ③長時間使用しない場合はコンセントからACアダプターを抜き、保管して下さい。
- ④本製品の上に重い物を置かないで下さい。事故や破損の原因となります。

レコード針の交換方法

ヘッドシェルとオーディオラインをつなぐケーブルを傷付けない様にご注意下さい。

■ カートリッジ部 / アーム部名称 ■



レコード針について

注意事項

レコード針は精密部品ですので、針先が曲がったり破損しない様、丁寧に取り扱い下さい。曲がったり破損したりすると、音溝を正確にトレース出来なくなり、レコード盤を傷めたり、故障の原因となります。

洗浄方法

レコード針が汚れたら、市販の針先クリーナー等でクリーニング洗浄を行って下さい。
(※「スタイラスクリーナー」と言う名称で販売されています。)

禁止事項

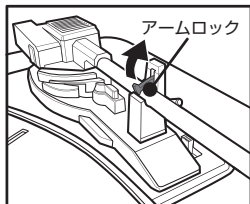
針先を硬い物で強くこすらないで下さい。
また、ベンジン・シンナーなどで拭かないで下さい。劣化や破損の原因となります。

交換に際して

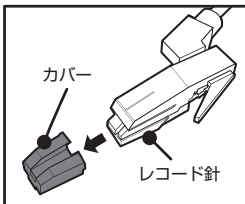
レコード針の販売については弊社「HNB販売」までお問合せ下さい。
(TEL 072-811-2555) (※レコード針の交換目安は250時間です。)

レコード針の交換方法

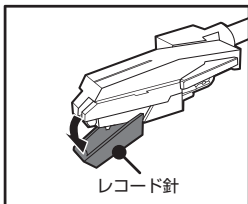
1 アームロックの固定を外す



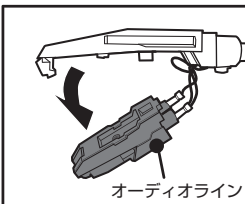
2 レコード針のカバーを外す



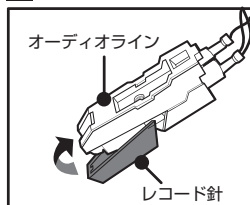
3 レコード針を外す



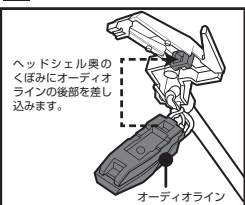
4 オーディオラインを外す



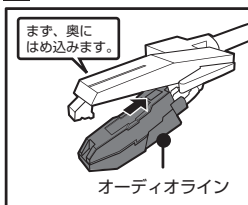
5 新しいレコード針を付ける



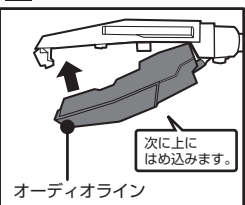
6 オーディオラインを元に戻す



7 オーディオラインの戻し方①



8 オーディオラインの戻し方②



お手入れの仕方



警告

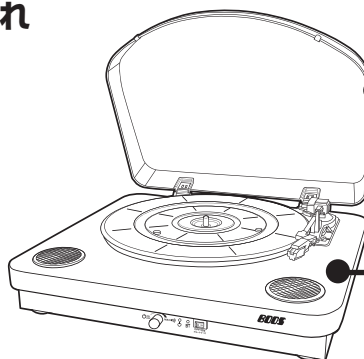
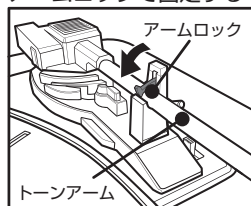
ベンジン・シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないで下さい

お手入れの際は、必ずACアダプターをコンセントから抜いて下さい。
また、濡れた手で抜き差ししないで下さい。感電や怪我をする恐れがあります。

1 製品本体のお手入れ

お手入れ時にトーンアームは必ずロックして下さい。
故障や破損の原因となります。

アームロックで固定する



ターンテーブルカバー
固く絞ったやわらかい布
などで拭きとります。

本体
固く絞ったやわらかい布
などで拭きとります。

汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をしぼって拭き、その後に柔らかく乾いた布で水分や洗剤を残さず拭き取して下さい。

2 レコード針のお手入れ

レコード針は使用後にはメンテナンスを行い、定期的に交換して下さい。
(※交換の目安は約250時間です。)



接触禁止

レコード針に繊維のような糸クズが着いていると、ノイズが発生しやすくなり、音が歪んで聞こえます。その際、糸くずは指先で取り払わないで下さい。
レコード針を傷める原因となります。

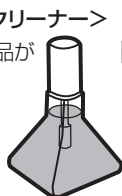
■通常のメンテナンス■

アルコールに浸した柔らかいブラシを使用し、レコード針を定期的にクリーニングします。
その際、レコード針の付け根から針先向かってブラッシングして下さい。

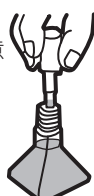
■クリーナー(別売)を使ったメンテナンス■

<スタイラスクリーナー>

ブラシ付の商品が最適です。



ブラシに液をつ付けすぎないように、ご注意ください。



トーンアームに取り付けた状態で針先に向かって優しく動かします。



クリーナーのブラシを動かす方向は、「針元から先に向かって」そっと拭いて下さい。
逆などで往復運動は針先を傷める恐れがあります。



お手入れが完了しても、レコード針が完全に乾いてからを再生を行って下さい。
乾ききっていない場合、レコード盤を傷める恐れがあります。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、以下の点をご確認下さい。

それでも異常のある場合は、弊社お客様相談窓口までお問い合わせ下さい。(TEL 072-811-2555)

弊社休日の場合は、お買い上げの販売店まで保証書を添え、商品をご持参下さい。

誤った修理は火災や感電などの危険な事故につながります。尚、**ご自身で分解・改造を行った場合は保証対象外となります。**

症 状	原 因	処置方法
本体部		
音が出ない	● 音量レベルが下がっている ● ブルートゥースがONになっている ● 再生モードが合っていない ● ACアダプターが外れている	→ 音量レベルを上げる → ブルートゥースモードをOFFにする → 再生モードを合わせる → ACアダプターをコンセントに確実に差し込む
雑音が入る	● レコード針が汚れている ● レコード針が摩耗している ● 電子レンジなどの電磁波を出すものが近くにある	→ レコード針をクリーニングする → P10の記載に従ってレコード針を交換する → 電磁波を出すものからできるだけ遠ざける
音程がおかしい	● 回転速度が合っていない	→ P5の記載に従ってレコード盤に合った回転速度を選ぶ
音飛びする	● 振動が多い場所に置いて ● レコード盤が汚れている ● レコード盤が破損している	→ 振動を与えると音飛びするので、安定した場所に設置直す → P4の記載に従ってレコード盤を拭く → 破損したレコード盤を交換する

SD カード、USB メモリー部

音が出ない	● SD カードに傷がある ● USBメモリーに傷がある	→ SD カード/USBメモリーを交換する
再生できない	● 音楽データが入っていない ● 音楽データがMP3ではない	→ MP3形式に変換された音楽データをSDカード/USBメモリーに保存する
録音できない	● レコード盤が破損している ● SDカード/USBメモリー	→ 破損したレコード盤を交換する → SDカード/USBメモリーを差し込むが差さっていない

ブルートゥース部

ブルートゥースが接続できない (ペアリングできない)	● モードがブルートゥースに ● 接続機器の接続モード設定が ● 他の接続機器を併用している (ヘッドホンスピーカー、マウス、 キーボードなど) ● 本体と機器が離れ過ぎて	→ P8の記載に従ってにブルートゥースモードに変更する → 接続機器の接続設定をONにする → 他の接続機器の使用を停止する → ブルートゥース機器に近づく (ブルートゥースの通信範囲は約10m)
-------------------------------	--	--

製品仕様

共通部

ACアダプター入力	AC 100～240V 50/60Hz
ACアダプター出力	DC5V 1A
消費電力	5W
実用最大出力	0.8W×2
製品重量	4kg
製品サイズ	W418×D385×H125mm（ターンテーブルカバー含む）
動作保証温度	5℃～35℃
付属品	ACアダプター、取扱説明書、保証書、EP盤アダプター

ブルートゥース部

適合規格	ver2.1+EDR
対応プロファイル	A2DP、AVRCP、AVCTP、AVDTP
送信周波数	2.4GHz（2402～2480MHz）
送信出力	Class2 0.25mW(-4dBm)～2.5mW(+4dBm)

ターンテーブル部

駆動方式	ベルトドライブ
モーター	DCモーター
回転数	33、45、78rpm
ワウ・フラッター	0.6%
SN比	45dB
ターンテーブル材質	プラスチック製（直径30cm）

トーンアーム・カートリッジ部

実効アーム長	165mm
針圧	6.3～6.5g

保証とアフターサービス

必ずお読み下さい

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談下さい。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

■お客様ご相談窓口 エッチ・エヌ・ビー販売株式会社

(TEL) **072-811-2555** 土日祝祭日を除く 9:00～17:00

(FAX) **072-811-2556** (E-mail) support@hnb-hanbai.com
〒572-0824 大阪府寝屋川市萱島東3-24-9

⚠ 注意 ⚠

本製品は家庭用です。
業務用としてご使用になられた場合は保証適用外となります。
ご了承ください。

補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理交換部品について

- 修理のために取り外した部品は、弊社にて引取り処分させていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

⚠ 注意 ⚠

本製品は国内専用です。
国外で使用された場合の故障は保証適用外となります。
ご了承ください。

修理や交換を依頼される際は

持込修理

6ページに従って調べていただき、なお異常がある場合は使用を止め、弊社またはお買い上げ販売店までお問合せ下さい。

- 故障品の修理に関しましては、販売店への持込が原則となります。
持込に関する諸経費(送料、交通費)はお客様のご負担とさせていただきます。
- 商品検査後に故障が確認されない場合、**着払送料・返却送料はお客様負担となります。**

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について



【設計上の標準使用期間】6年
【製造年】2018年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至る恐れがあります。

製品本体に表示されている【設計上の標準使用期間】は、標準的な使用条件の下で正しい取扱い、維持管理が行われた際に、安全上の支障なく使用する事ができます。標準的な期間として設計上設定される期間であり、無償保証期間とは異なります。

※使用頻度、環境、設置場所などが標準的な使用条件でない場合や、本来の目的以外の方法で使用された場合は、記載の設計上の標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。

□修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

□保証期間が過ぎていたときは

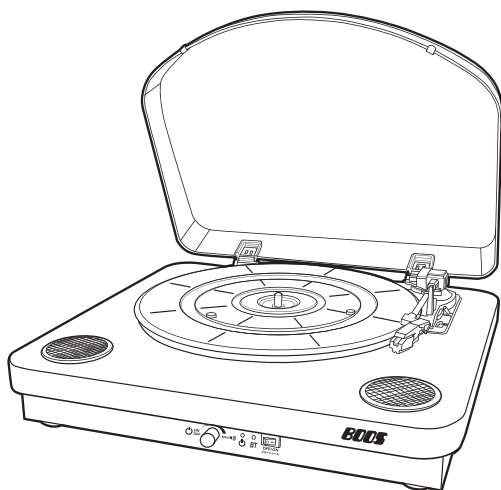
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談下さい。

修理すれば使用できる場合は、お客様のご希望によって有料で修理させていただきます。

修理メモ

※保証書は、本書に明示した期間・条件に従って無償修理をお約束するものです。保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明な点がある場合は、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

※保証期間経過後の修理や補修性能部品の保有期間については本ページの「補修用性能部品の保有期間」をご覧ください。



BOOS

HNB-PL1000BT(WD)

エッチ・エヌ・ビー販売株式会社
〒572-0824 大阪府寝屋川市萱島東3丁目24-9

■お客様ご相談窓口

TEL **072-811-2555** 土日祝祭日を除く
9:00~17:00

FAX 072-811-2556 E-mail support@hnb-hanbai.com

補足事項

レコード盤からSDカード/USBメモリーに
録音する場合のご注意

録音時の選曲はできません

CDの音楽データを録音する場合と異なり、レコード盤にはトラックと言う仕組みがないため、曲を分ける事ができません。

レコード盤の音楽データを一曲ごとに区切りをつけて保存したい場合は「録音→停止」を繰り返して、一曲ずつ録音して下さい。
(※録音方法はP7「録音する」を参照して下さい。)

